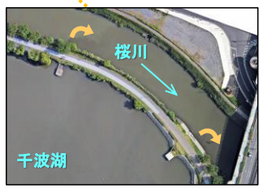
桜川試験通水結果

令和６年５月～９月の那珂川の水量が豊富な時に通水を実施しました。
通水日数は55日間で、通水量は合計約4,000千㎥でした（千波湖約11杯分に相当する水量です）。



那珂樋管から取水した那珂川河川水を、桜機場で桜川に放流します。
その水を桜川取水堰から取水し、月池を経由して千波湖に流れ込みます。

令和７年度の実施内容

当初予算：約258億円

【主な工事の実施内容】

昨年度に引き続き、石岡トンネル第３,４,５工区の工事、高浜機場（第２機場）及びろ過設備工事を進捗させます。

【調査検討等の内容】
- 桜川試験通水
- モニタリング調査
- 那珂川、利根川、霞ヶ浦、桜川の水理水文調査、環境調査　等

試験通水時の千波湖と桜川の様子（令和6年度）

千波湖西側の状況

■千波湖（湖内中央付近）のCOD
・１日最大１２時間の通水で大幅に減少しました。

桜川･柳堤堰の状況

■桜川（搦手橋）のBOD
・１日最大１２時間の通水で大幅に減少しました。

国土交通省関東地方整備局
霞ヶ浦導水工事事務所
〒300-0812　茨城県土浦市下高津 2-1-3
TEL:029-822-3007(代)　FAX:029-826-6099
https://www.ktr.mlit.go.jp/dousui/

令和7年度 事業概要

つ な ご う 輝 く 潤 い の 明 日 へ

国土交通省関東地方整備局
霞ヶ浦導水工事事務所

霞ヶ浦導水事業は、那珂川下流部、霞ヶ浦及び利根川下流部を連結する地下トンネルによる流況調整河川を建設し、河川湖沼の水質浄化、既得用水の補給等流水の正常な機能の維持と増進、水道及び工業用水の供給の確保を目的とした事業です。

霞ヶ浦導水路は、利根川水系における上流ダム群、中下流域の貯水池、湖沼開発、河口堰とあわせ、限られた水資源を有効に活用するため、那珂川・霞ヶ浦・利根川を結び那珂川水系もあわせた水のネットワークを形成するものです。

霞ヶ浦導水事業の目的

水質浄化

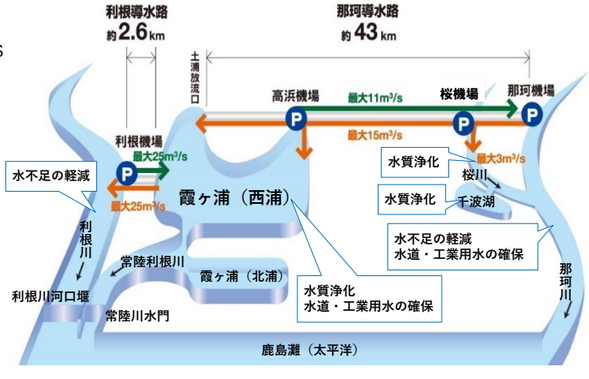
那珂川下流部から霞ヶ浦及び桜川へそれぞれ最大15m³/s及び最大3m³/sを導水するとともに、利根川下流部から霞ヶ浦へ最大25m³/sを導水し、霞ヶ浦、桜川等の水質浄化を図ります。

流水の正常な機能の維持と増進（水不足の軽減）

霞ヶ浦から那珂川及び利根川にそれぞれ導水し、那珂川下流部及び利根川下流部における既得用水の補給等流水の正常な機能の維持と増進を図ります。

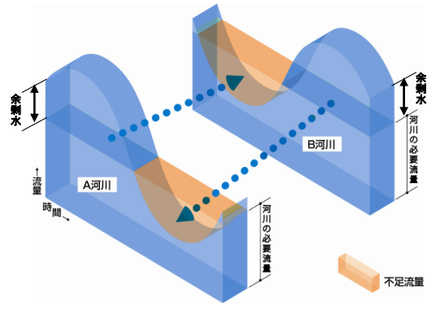
水道及び工業用水の供給の確保

茨城県、東京都、印旛郡市広域市町村圏事務組合の新規水道用水として最大5.548 m³/s、茨城県、千葉県の新規工業用水として最大1.774 m³/sの供給の確保を図ります。

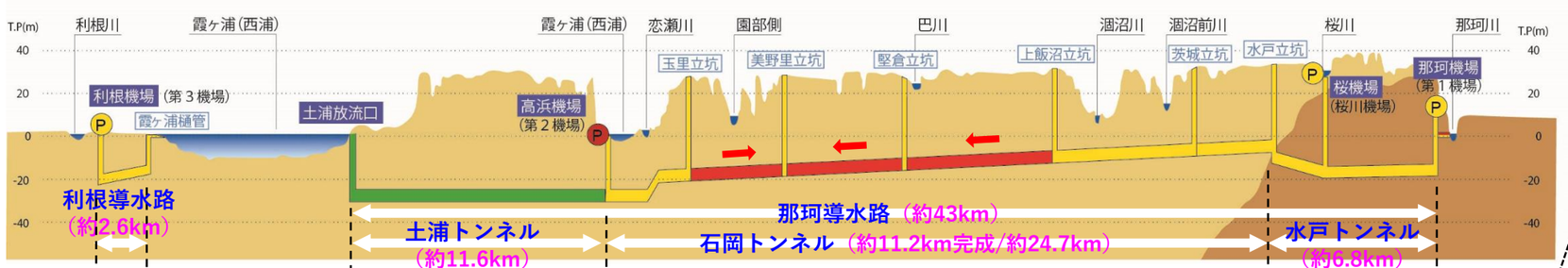


流況調整河川とは

流況（水量の季節的特性）が異なる２つ以上の河川を水路で結び、時期に応じて水量に余裕のある河川から不足している河川に水を移動させ、それぞれの河川の流況を改善するものです。これにより河川の必要流量の確保、水の有効活用を行います。



令和７年度の主な工事の実施箇所



各工区の最新の進捗状況はこちらから確認できます

那珂樋管

那珂樋管において、魚類迷入防止対策設備を整備しています。

那珂樋管（工事中）

対策設備（イメージ）

石岡トンネル（第３工区）

上飯沼立坑から堅倉立坑に向けて、約4.9kmのトンネルを掘進しています。

トンネル内

上飯沼立坑上部

石岡トンネル（第４工区）

堅倉立坑から美野里立坑に向けて、約4.1kmのトンネルを掘進しており、令和7年5月頃到達予定です。

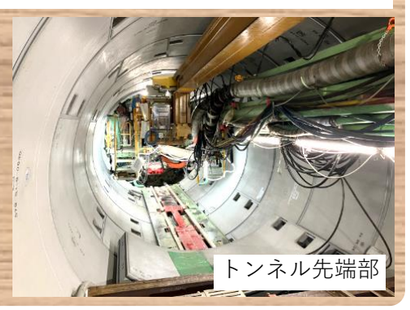
美野里立坑（到達準備）

トンネル先端部

石岡トンネル（第５工区）

玉里立坑から美野里立坑に向けて、約4.5kmのトンネルを掘進しています。

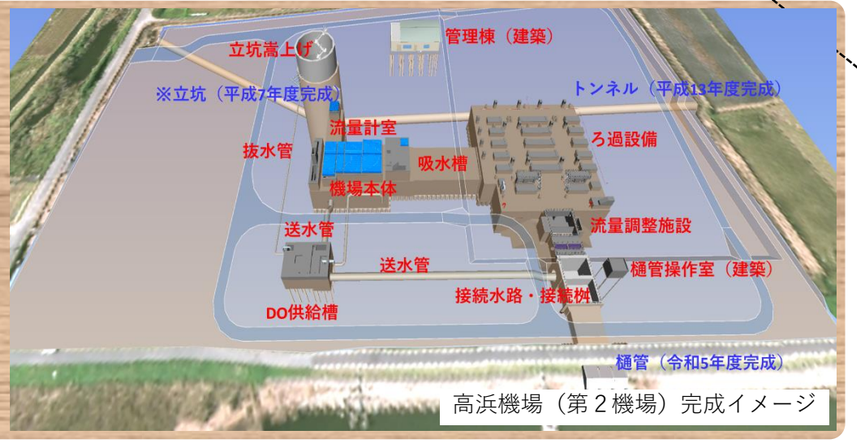
トンネル坑口


トンネル先端部

高浜機場（第2機場）・ろ過設備

霞ヶ浦から那珂川に最大11 m³/sを送水するための施設で、外来種の移送対策としてろ過設備を整備しています。また、ポンプ施設を始めとした、土木・機械・電気・建築工事を進めています。

高浜機場（第２機場）基礎掘削状況



高浜機場（第２機場）完成イメージ